

## 第22回北海道法人会青年の集い小樽大会

1. 開催日 平成24年6月15日(金)
2. 開催場所 大会式典・記念講演会 小樽市民センターマリンホール  
懇談会 サンモール一番街アーケード内
3. 主催 社団法人 北海道法人会連合会 青年部会連絡協議会
4. 主管 公益社団法人 小樽法人会 青年部会
5. 行事日程・参加人数

受付 13:00～

大会式典 15:00～16:00

来賓招待者33名 参加人数331名(内道外1名)

一般参加者30名

①開会

②国歌斉唱

③式辞 道法連青連協会長 盛 永 喜 之



④来賓紹介

⑤来賓祝辞 札幌国税局課税第二部長 平 井 美 佳 様



北海道後志総合振興局局長

下 出 育 生 様

小樽市長

中 松 義 治 様

道法連会長

光 安 規 実 男 様

(道法連専務理事

霜 鳥 威 敏 様)

⑥ 祝電披露

⑦ 租税教育活動優秀賞 道連受賞作品紹介

(第25回法人会全国青年の集い みえ大会 租税教育活動プレゼンテーション

「中学生対象【税の川柳】募集事業」DVD放映)

⑧ 各地青年部紹介

(29単位会×15秒 スライド)

⑨ 小樽活動報告

(小樽高橋部会長紹介後、活動内容をDVD放映)

⑩ 次回開催会挨拶

函館法人会部会長 (実行委員長)

横 浜 紀 世

⑪ 大会宣言 小樽大会実行委員長

山 本 憲 治

⑫ 閉会

記念講演 16:10～17:20

講師 アフラック創業者・最高顧問

大竹美喜氏

テーマ 「人生の座標軸

～宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える～」

懇談会 18:00～20:30

- ①開会挨拶 小樽法人会青年部会長 高橋幸孝
- ②来賓挨拶 全法連青連協会長 武村秀行様  
(全法連青連協会務担当副会長 小野兼資様)
- ③祝杯 小樽税務署長 後藤善行様  
(各部会、各飲食店にて懇談)
- ④祝宴 ゴルフ大会表彰式  
抽選会  
全道大会次回開催PR (函館法人会)
- ⑤閉会挨拶 小樽法人会会長 荒田一正

ゴルフ大会 6月14日(木) 7:21スタート

参加人数60名 小樽カントリー倶楽部

## 大会宣言

～ 商都から羽ばたこう！いま新たなる変革の未来へ ～

我が国は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や原発事故による風評被害、今まで経験したことのない円高など、未曾有の大きな問題が山積し、震災の復興、経済政策に加え次世代の子供が安心・安全に暮らせる環境問題の取り組みが急務とされ、税制については巨大な財政赤字や社会保障費の増大など、国民による税負担が待ったなしの状況にあり、「税のオピニオンリーダー」である法人会は、公平公正な税負担のあり方について提言し、関与していくことが強く求められている。

このような国内外の大きな転換期の中で、我々法人会は、地域経済の先導的役割を担う団体としての責務を自覚し、もとより「正しい納税」「地域企業の健全な発展」「社会への貢献」を基軸に公益的に展開することが肝要である。

法人会青年部会は、次世代を担う子供たちに対して、「まじめに努力するものが報われる社会」「税の仕組み・税のあり方」について、租税教育活動を通じて、積極的に伝えていかなければならない。こうした取り組みとして北海道法人会青年の集い・札幌大会で実施した「税の川柳」募集事業が、第25回法人会全国青年の集いみえ大会で優秀賞を受賞したことは記憶に新しい。

ここ小樽は、港湾都市として栄えてきたが、大正12年のアンケートによると、先人は、小樽の将来を「今後の小樽の発展は小樽市民の非常な努力に待たなければならない。」と予言しており、青年部会は今この変革期に決起し、伝統・文化の継承はもとより、市民の先頭に立って新しい未来に向け果敢に挑戦しなければならない時である。

北海道法人会青年部会は、租税教育活動の推進はもとより、次世代を担う子供たちが夢をもてる明るい未来、安心・安全に暮らせる北海道に向けて、まず自らが研鑽に励み、適正・公平な申告納税制度の維持・発展と地域企業並びに地域社会の健全な発展をキーワードとして新たなる変革の未来を切り拓くことを誓い

「第22回北海道法人会青年の集い小樽大会」において宣言する。

平成24年6月15日

第22回北海道法人会青年の集い小樽大会